

ガソリン携帯缶

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください！

この度はYAZAWAガソリン携帯缶をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。本製品を正しくお使い頂くために、この取扱説明書をよくお読みください。

また、この取扱説明書は読み終わりましても大切に保管していただき、必要に応じてお読み返してください。

1.使用上のご注意

- 各容器の規定容量以上は絶対に入れないで下さい。
- ガソリン以外の混合油を缶に入れる場合には、必ず付属のシールを缶の目立つ場所に貼り付け、入れ間違いの無いよう十分注意して下さい。又、それ以外の物の使用は、塗装、パッキン材劣化、サビの原因となりますので、使用しないで下さい。
- キャップ、ノズルの開閉時には、手袋を着用し指などはさまないよう十分注意してください。
- 給油の際、ノズルが確実に取り付けられている事を確認し、万が一、溢れでも周囲が汚れたり人体に危険を及ぼさないよう十分注意してご使用して下さい。
- 給油の際、周りに火気が無い事を十分確認して下さい。火災の原因になります。
- エンジン等が付いているものに給油するときは、引火する恐れがあるので、必ずエンジン停止、スイッチを切ってから給油して下さい。
- タンクキャップを外すときは、まず1/4回転程キャップを「開」方向に回転させ、缶内の圧力を調整してからタンクキャップを取り外して下さい。タンクキャップを一気に外しますと、ガソリンが噴出し、破裂によるキャップの飛び出し等大変危険です！
- 車などに搭載して移動する場合には、必ずポリエチレンの袋や受け皿に置き、しっかりと固定されていることを確認してください。
- タンクキャップ、給油ノズルのパッキンが劣化したり、破損した場合には油漏れによる危険がありますので、部品を交換してください。
- 内容物の有無に関わらず、直射日光が当たる場所、火気の近くなど高温になる場所を避けた安全な場所で保管して下さい。変形や破裂、火災の原因となります。
- 雨や雪のあたる場所や湿気の多い場所を避けて保管してください。さびの原因となります。
- タンクキャップを確実に締め、常に平らな場所に保管して下さい。
- 空の状態でも長期間保管する場合にはタンクキャップを少しゆるめて下さい。
- 長期間使用しなかった場合には、ガソリン缶本体、各々の部品に劣化や破損が無いことを確認した後、使用して下さい。
- ガソリン缶本体にサビや劣化、破損がみられる場合には、直ちに使用を中止して下さい。
- 誤った使用方法、火災、地震、水害、その他天災地変、公害、塩害などによる故障や損傷についてはいかなる責任も負いかねます。

2.給油の手順とご注意

- ① 缶を給油口が上向きになるよう平らな場所に置いてください。
- ② 1/4回転程タンクキャップを「開」方向に回転し、缶内の圧力を調整してからタンクキャップを取り外して下さい。
- ③ 給油ノズルを確実に取り付け、ノズルを注油する方向に向け、缶をしっかりと持って注油して下さい。

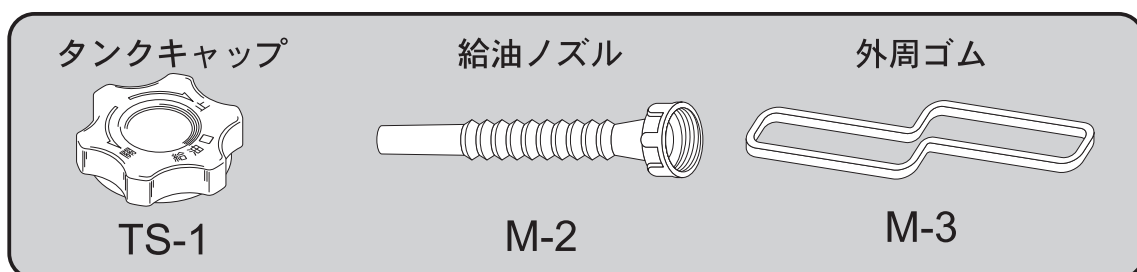
3.使用後のご注意

- ① ノズルを外してタンクキャップを確実に締めて下さい。
- ② 缶を傾け、タンクキャップから漏れのないことを確認して下さい。
- ③ 給油ノズルをよく乾かしたのち、ガソリン携帯缶平面のノズルとめにはめ込んでください。

4.ガソリン保管上のご注意

- ガソリンは引火性(着火性)の高い危険物です。直射日光が当たる場所、火気の近くなど高温になる場所を避けた安全な場所で保管して下さい。
- 小出し分けなどして空気(酸素)に触れる機会が多いと、品質の変化が早まりますので、できるだけ一回に補給して下さい。
- ガソリンを長期間保管すると品質が変化することがあります。
- ガソリンの品質が変化すると燃料としての役割がなくなりますので、早めに使用して下さい。
- 携帯缶が空になったからと言って「裸火」は絶対に近づけないで下さい。

ガソリン携帯缶用取替部品



矢澤産業株式会社

〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村神稲9180番地
TEL <0265>35-7633 FAX <0265>35-7634